

## 鳥取県健康対策協議会肝臓がん対策専門委員会

- 日 時 令和5年8月3日（木） 午後2時45分～午後3時45分
- 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町  
鳥取県西部医師会館 米子市久米町
- 出席者 26人  
〈鳥取県健康会館〉  
渡辺健対協会長  
岡田・瀬川・満田・松田・山下各委員  
県健康政策課がん・生活習慣病対策室：山根室長、上田課長補佐、岡係長、  
東原保健師  
健対協事務局：岡本事務局長、岩垣次長、神戸課長、田中主任、廣瀬主事  
オブザーバー：鳥取市保健所健康・子育て推進課健診推進室 歳岡保健師  
八頭町役場保健課 田中主任保健師  
〈鳥取県西部医師会館〉  
孝田委員長、岡野・永原・陶山・前田直人・柴田・中根各委員  
オブザーバー：米子市福祉保健部健康対策課 宇佐見係長、吉川主任

### 【概要】

- ・ 肝炎ウイルス検査の令和4年度実績は、保健所においてB型肝炎検査3件、C型肝炎検査3件で、そのうちB型、C型いずれも陽性者は0人であった。医療機関においては、B型肝炎検査は医療機関38件、検診機関18件、C型肝炎検査は医療機関で38件、検診機関18件で、そのうちB型、C型いずれも陽性者は0人であった。
- ・ 肝炎治療特別促進事業では令和4年度に認定された者は、B型肝炎は1,020人、C型肝炎は48人であった。
- ・ 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業実績は、平成30年から現在までの合計が、肝がんは認定29件、併発9件。助成件数は肝がん119件、併発38件であった。助成金額

は肝がん400万4108円、併発175万491円となっている。

### 挨拶（要旨）

〈渡辺会長〉

連日37度を超える暑さが続いている中、お集まりいただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、鳥取県でも7月頃からは感染者数の急激な増加がみられ、5月から定点調査に移行しているが、1日平均各地区20～30人の感染者は発生しており、警戒レベルが続いている。また、中等症Ⅱ以上の患者の即応病床に対する入院率も増加しつつあり、今後、医療の逼迫も懸念される。その一方、通常の医療も引き続きしっかり取り組まなくてはいけない状況である。本日は様々な意見をいただき、肝臓がん対策

にかかる活発な議論をお願いしたい。

〈孝田委員長〉

委員の皆様も大変なところ参加していただき御礼申し上げます。本日の会議の議題について、なるべく速やかに進めたいと思っているので、よろしくをお願いします。

## 報告事項

### 1. 令和4年度 県が実施する肝疾患対策事業の実施状況について：

県健康政策課がん・生活習慣病対策室

#### (1) 令和4年度肝炎ウイルス検査の結果について

新型コロナウイルス感染症の影響により、倉吉保健所では令和2年5月以降、米子保健所では令和2年4月から令和5年5月まで検査を中止している。その影響もあり、令和4年度実績は昨年度に引き続き減少している。令和4年度実績はB型肝炎検査3件、C型肝炎検査3件で、B型、C型いずれも陽性者は0人であった。

医療機関においては、令和4年度実績でB型肝炎検査は医療機関38件、検診機関18件、C型肝炎検査は医療機関で38件、検診機関18件で、B型、C型いずれも陽性者が0人であった。

#### (2) 検査費用助成制度の実績

肝炎検査で陽性と判定された方を対象に、医療機関で初回の精密検査の費用の助成件数は、令和4年度は13件であった。令和2年度からは妊婦健診、または手術前に実施する肝炎ウイルス検査の陽性者も対象となっているが、これまで助成実績はない。肝炎定期検査費用（年2回を限度）助成件数は、20件であった。

#### (3) 肝炎治療特別促進事業の認定状況について

令和4年度に認定された者は、B型肝炎は1,020人であった。C型肝炎は48人であった。

#### (4) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の認定状況について

令和4年度は、肝がん認定件数が9件、肝がん・非代償性肝硬変の併発が2件。助成件数は、肝がん42件で142万6800円、併発は6件で28万5600円であった。平成30年から現在までの合計は、肝がんは認定29件、併発9件。助成件数は肝がん119件、併発38件であった。助成金額は肝がん400万4108円、併発175万491円となっている。

通院については、令和4年度助成件数は、肝がん52件で182万6451円であった。令和3年度と比較して、件数が増加した。

### 2. 「鳥取県ウイルス性及び非ウイルス性肝疾患精密検査費助成事業実施要綱」の一部改正について：

県健康政策課がん・生活習慣病対策室

日野病院が5町と連携し、「特定健康診査・後期高齢者健診からの肝臓がん高リスク患者拾い上げ事業」を実施している。肝臓がん等の早期発見・早期治療を促進するため、さらに本研究事業において非ウイルス性肝炎患者における肝疾患の進展に関する分析を進めるため、高リスク者が定期観察のために受診する際の費用の一部を助成するため、令和5年4月1日付で要綱改正を行った。

### 3. 令和5年度鳥取県肝炎医療コーディネーター養成研修について：

県健康政策課がん・生活習慣病対策室保健師

養成研修会は令和5年9月3日に倉吉未来中心セミナールーム3で開催予定である。肝炎医療コーディネーターの認定期間は3年間であり、すでに肝炎医療コーディネーターとなっている者が今回研修を受講した場合、認定期間を令和8年度まで更新する。

また、コーディネーター認定者を対象としたスキルアップ研修会は、令和5年12月頃開催予定である。この研修会を受講することで、コーディネ

ネーターとしての任期を3年延長する。

更新時期の対象となる者について個別通知の必要性があるという意見があり、今年度から個別通知を行うこととなった。

#### 4. 鳥取県肝疾患専門医療機関の指定の変更について：

県健康政策課がん・生活習慣病対策室保健師独立行政法人国立病院機構米子医療センターより、肝疾患について専門的な知識を持つ医師の常勤がなくなることに伴い、鳥取県肝疾患専門医療機関指定の辞退届の提出があり、令和5年6月30日付けで指定解除した。本県の肝疾患専門医療機関は13施設となった。また、「鳥取県肝疾患専門医療機関選定要領」の2選定方法（3）「ペグインターフェロンなどの抗ウイルス療法を適切に実施していること」については、「抗ウイルス療法を適切に実施していること」に変更する予定である。

#### 5. 鳥取県肝炎対策推進計画について

現在の「鳥取県肝炎対策推進計画」は令和5年度に計画期間が終了するため、令和4年3月7日付けで改正された「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」を踏まえ、鳥取県肝炎対策推進計画を改定する。また、本計画は第8次鳥取県保健医療計画と一体的策定することから、記載方法は保健医療計画と統一する。

「鳥取県肝炎対策推進計画」の達成状況について、75歳未満の年齢調整死亡率は、目標通り全国平均レベルとなってきているため、次期目標でも全国平均レベルを目指す。B型及びC型肝炎ウイルス検査の受検者はそれぞれ60,000人とする目標に対し、受検者数見込みが30,627人（H30～R5年度）のため、次期目標値では34,000人（R6～R11年度）を目指す。肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診率について、80%の目標値に対して、平成30年度～令和3年度平均が61.7%であり例年6割程であるが、次期目標でも80%以上を目

指す。肝炎医療コーディネーターについては、目標の150人養成に対して、令和4年度末時点で225人が認定されており、次期目標では240人以上の養成と維持を目標とする。

#### 6. その他

県より令和4年度の冬部会において、市町村の肝炎の健康増進事業について、B型肝炎の陽性率が上がっており、また精密検査の受診率が下がったと報告した。データを分析したところ、ある市町村が陰性と報告すべきところを陽性としていたことが要因と判明した。については再度集計し、令和3年度のB型肝炎の陽性率が1.7%から1.3%となり、精密検査受診率は45.3%から57.4%となる。資料については後日送付する。

#### 協議事項

##### 1. NBNC型肝臓がん対策について：孝田委員長

孝田委員長を中心とした作業部会で、日野病院が西伯郡及び日野郡の5町と連携し、特定健康診査、後期高齢者健診の受診者において生活習慣病の受診勧奨となった住民に対して医療機関受診時に測定された血小板数を町に返信してもらい、線維化予測式であるFIB-4インデックスを測定した。肝がん検診・定期健診時期別予後について、C型肝炎は減ってきている。腫瘍数、腫瘍径についてはほぼ同じとなっている。生存率についても有意に改善してきている。2021年度と2022年度の日野郡・西伯郡特定健康診査・後期高齢者健診からの非ウイルス性肝疾患の拾い上げについて、2021年度の健診受診者は2,152人、生活習慣病受診勧奨者は312人、FIB-4測定同意者は114人（低リスク71人、中リスク27人、高リスク16人）であった。2022年度の健診受診者は3,121人、生活習慣病受診勧奨者は254人、FIB-4測定同意者は97人（低リスク61人、中リスク25人、高リスク11人）であった。2023年度からは定期検査の費用助成があるため定期検査の受診者の増加を期待している。また、岡山市立病院肝臓内科の先生が作成された、

年齢を排除したFIB-3インデックスでデータを見ると、高齢者や肝機能の良い方が半数ほどは高リスクから外れることになった。そのため今後、FIB-3インデックスの活用も検討していく。

## 2. 肝臓がん検診従事者講習会及び症例検討会について

令和5年度は、令和5年6月11日開催の鳥取県

医学会と同時開催した。会場については、鳥取県西部医師会で集合方式により開催した。鳥取大学医学部附属病院の永原委員に「B型肝炎の最新治療と再活性化対策」について講演いただいた。令和6年度は、中部地区で開催予定。講師は今後検討する。

---

## 肝臓がん検診従事者講習会及び肝臓がん検診症例研究会

日 時 令和5年6月11日（日）

午後12時20分～午後1時30分

場 所 鳥取県西部医師会館 米子市久米町

出席者 92名

### 講 演

鳥取県健康対策協議会肝臓がん対策専門委員会  
委員長 孝田雅彦先生の座長により、鳥取大学医学部附属病院消化器・腎臓内科助教 永原天和先

生による「B型肝炎の最新治療と再活性化対策」の講演があった。

### 症例検討

鳥取県健康対策協議会肝臓がん対策専門委員会  
委員長 孝田雅彦先生の進行により、鳥取大学医学部附属病院消化器・腎臓内科助教 永原天和先生から症例報告をしていただき、検討を行った。